



3月号  
[No. 4 1 4]

# 二小だより

横浜市立港南台第二小学校 横浜市港南区港南台5-4-1  
電話 045-831-7676 FAX 045-833-9742

## 「感動のある学校」へ向けて

校長 山手 英樹

春の息吹を感じられる頃となりました。校庭の樹木も春近しと新しい生命の躍動を待っているかのようです。例年ですと2月の寒さが厳しく休む子が多いのですが、今年は暖冬のせいか欠席者が少なく、全校で欠席者が「0人」の日もあり元気に登校する子どもたちの姿が嬉しかったです。

二小では、この一年「感動のある学校」をキーワードにしてきました。何よりも「日々の授業に感動を」「どうしたら子どもたちが目を輝かせ本気で学ぶ授業となるのか」そのために「どのようなしかけを工夫したらよいか」など、教職員の研修を進めてきました。特に学級の全員が楽しく学び合い「わかる・できる」ことを目指す授業デザイン（ユニバーサルデザイン）について、講師を招いたり研究授業を通したりして研修を深めています。授業力を高めることにより、各教科における「知識及び技能」の習得はもちろん「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」を培っていけるのだ確信しています。

また今年度は重点的な研究を「総合的な学習の時間・生活科」として「自分たちのまちや地域を知る」「地域の人々と関わる」「地域のよさや自然に触れる」ことで、子ども一人ひとりが自分の思いや願いをもって課題解決学習ができることをめざしてきました。この発表の場が、先日の「二小っ子フェスティバル」です。次のページにあるような学習は、地域の皆様のご協力がなければ成り立ちません。フェスティバル当日にもゲストティーチャーに来ていただいたり、お世話になった関係施設やお店の皆様に招いたりしました。もうすぐ卒業の6年生は、「平成ラストの大舞台、花咲け二小っ子」のスローガンのもと、地域について調べ、地域の人とふれあい「生まれ育った港南台っていいな。」と実感したことでしよう。

子どもたちは、こういった学習を通して人とふれあい、喜びを感じたに違いありません。そしてこういった学びは、本校の学校教育目標である「生きる喜びを実感する子どもたち」へとつながっていると思います。

3月16日は卒業式です。6年生は、全校のみんなを引っ張ることができました。卒業式当日は「最後に最高の表現」で6年間を締めくくると思います。1年生から5年生も、学習や生活のまとめをしっかりと行い次の学年につなげていきたいと思っています。

この一年間、保護者・地域の皆様には、本校の教育にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さらによりよい学校、「感動のある学校」を目指し努力して参ります。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。